

経営比較分析表／団体全体（令和2年度決算）

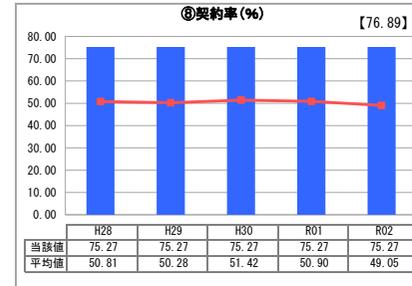
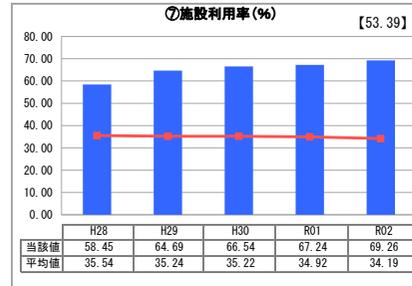
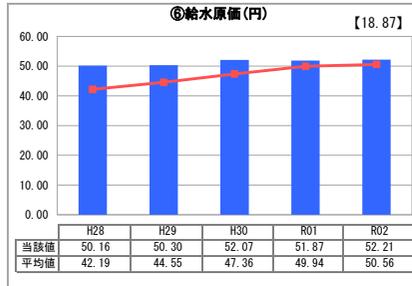
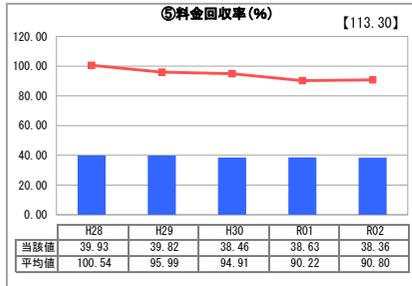
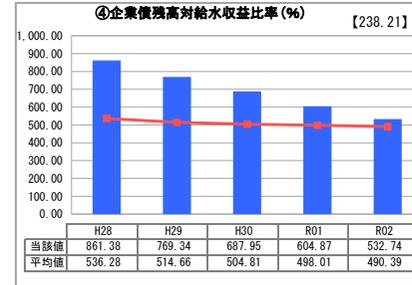
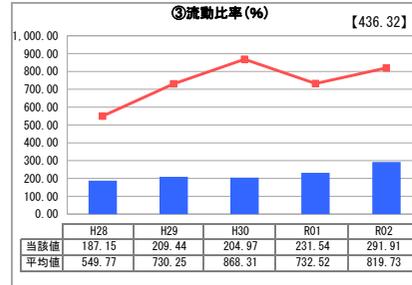
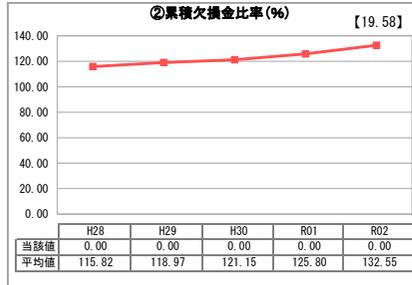
山形県 小国町
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	6,510	極小規模	1	4,509
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	80.7	1	4,900	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
単年度の経常収支は黒字ではあるが、収益の50%以上を一般会計からの繰入金に依存している状況が続いている。

④企業債残高対給水収益比率
平成25年度に中央監視装置を更新してから大きな投資を行っていないため減少となっている。

⑤料金回収率
基準外繰出により収入不足を補填している状況である。

⑦施設利用率
給水先企業の操業が好調であり、やや増加傾向にあり、類似団体と比較しても高い利用率となっている。

⑧契約率
1社のみで一定となっている。

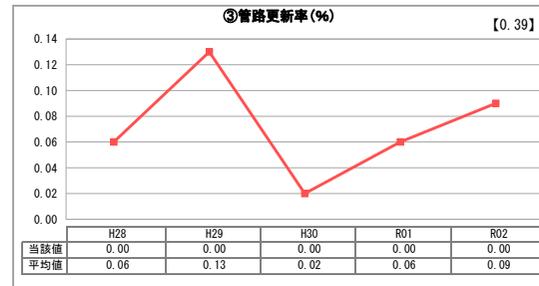
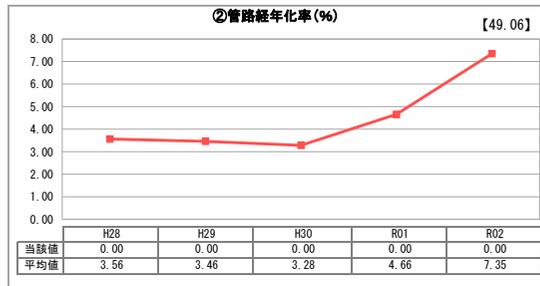
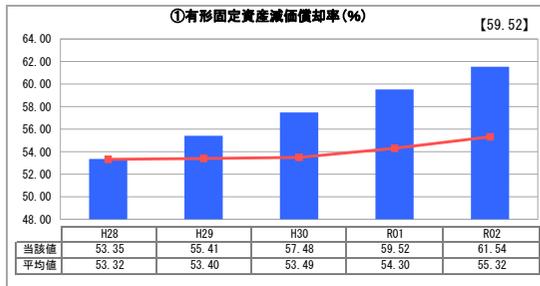
設備等の老朽化も進行していることから、改修費用の一部を料金改定に求めながらも、給水先企業の支援も事業目的としていることから、収支の不足分を一般会計からの繰入金により事業継続を図る。

2. 老朽化の状況について

管路については耐用年数の概ね半分の期間が経過している。

機械及び装置については、長期的に経費が節減できるよう、毎年点検を行った結果を受け、予防修繕を含めた老朽化対策と更新費用の平準化を図っている。

2. 老朽化の状況



全体総括

本事業は町内の給水先企業に対し、安定的で高質な工業用水を低価格で供給することにより企業を支援し、それによって町の活力を保持することを目的としている。

今後新たな設備投資よりも既存設備の維持が大きな課題となってくるため、長期的に経費が節減できるよう予防修繕を含めた老朽化対策を中心に実施していく。維持管理経費の財源確保のため、料金改定の協議を進める。